

第9回

京都都市緑化
写真コンクール
入選作品集

(平成5年度)

緑とオープンスペースは、大気の浄化・気温の調節など良好な環境づくりに大切な役割をはたしているほか、潤いのある生活環境の確保、レクリエーションの場の提供など多くの役割を担っており、安全で快適な都市環境の形成に欠くことのできないものです。

このような緑の重要性と都市緑化の必要性に対する理解を深めるために、10月の「都市緑化月間」を中心に、全国各地で緑と公園に関するさまざまな行事が行われました。

京都では、この「都市緑化月間」の行事のひとつとして「街の緑と公園」「身近かな小さな緑」などを主題とした「第9回京都都市緑化写真コンクール」を行い、387点の応募作品の中から入選作品として優秀な作品44点を選びました。

主催 京都府都市計画協会

共催 京都府・京都市

(社)京都府造園建設業協会

第11回全国都市緑化きょうとフェア実行委員会

入選作品一覧

京都府知事賞	「緑の下で」	安達 貞義
京都市長賞	「昼さがり」	滝本 正雄
(社)京都府造園建設業協会賞	「街」	倉田 武彦
第11回全国都市緑化きょうとフェア実行委員会賞	「街角のみどり」	中川 敦夫
優秀賞	「楽しい公園」	橋本 健治
(順不同)	「雨上りの緑地」	南部 斉
	「木蔭」	小畑 礼司
	「真夏の昼下り」	浜崎 照男
	「早朝の堀川通り」	片山 環
	「100日前の夜」	野口 美子
	「都心美化」	長岡 隆男
	「メイン・ストリート」	渡辺日出夫
	「街の中のオアシス」	林 茂
	「緑に誘われて」	高橋 好子
	「新緑を求めて」	神内 宏輝
	「古都の堀川」	林 新一
	「緑に跳る」	谷口 一男
	「植物園の昼下り」	長堀洋次郎
	「緑陰に遊ぶ子供達」	森津 二郎
	「竹林公園の緑庭」	寺島 寿
	「軒下のやすらぎ」	南部 良平
	「緑の中でバイスグル・トライアル」	西 義雄
	「深緑の憩い」	谷田 道雄
	「夏の昼下り」	小蔵 武三
	「ビルの中のオアシス」	渡部恵美子
	「みどりの頃」	伊藤とのひろ
	「窓のみどり」	長岡 睦美
	「(無題)」	河原 靖尚
	「母子水いらず」	山田 拓広
	「緑蔭のバス停」	山田 昌次
	「昼下がりのひととき」	山田千恵子
	「緑の館」	北川 順子
	「新緑とつつじの道」	金田 悦二
	「緑と噴水福知山城公園」	安藤 業
	「緑の中で」	中島 清
	「祭の日」	千原 正己
	「緑の散策路を歩く若者」	一井 由清
	「しだれ桜の並木道」	堀島 信之
	「緑の息吹き」	石井 実
	「蟬取り」	滝本 力
	「花のある町」	小巻 勝
	「昆虫のオアシス」	藤本 正則
	「街、緑生き生き」	谷口 祥一
	「走る」	佐々木一幸

京都府知事賞1点、京都市長賞1点、
(社)京都府造園建設業協会賞1点、
第11回全国都市緑化きょうとフェア実行委員会賞1点、
優秀賞10点、佳作30点 合計44点

—京都府知事賞—



「緑の下で」 安達 貞義

—京都市長賞—



「昼下がり」 滝本 正雄

—(社)京都府造園建設業協会会長賞—



「街」 倉田武彦

—第11回全国都市緑化きょうとフェア実行委員会会長賞—



「街角のみどり」 中川敦夫

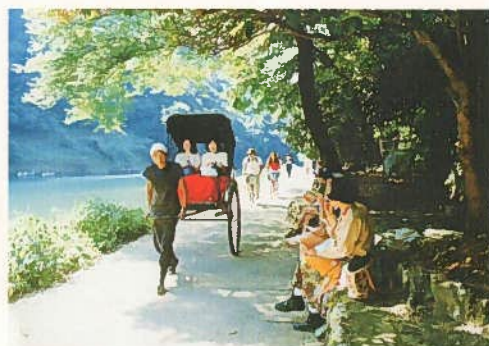
—優秀賞—



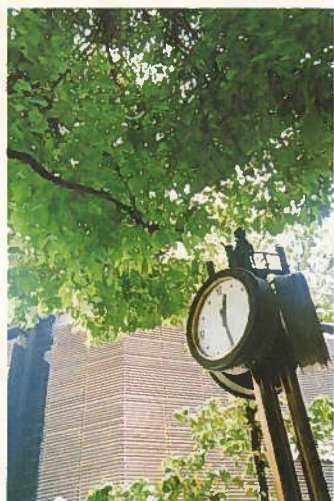
「楽しい公園」 橋本健治



「雨上りの緑地」 南部 斉



「木陰」 小畑礼司



「真夏の昼下り」 浜崎照男



「早朝の堀川通り」 片山 環

—優秀賞—



「100日前の夜」 野口美子



「メイン・ストリート」 渡辺日出夫



「緑に誘われて」 高橋好子

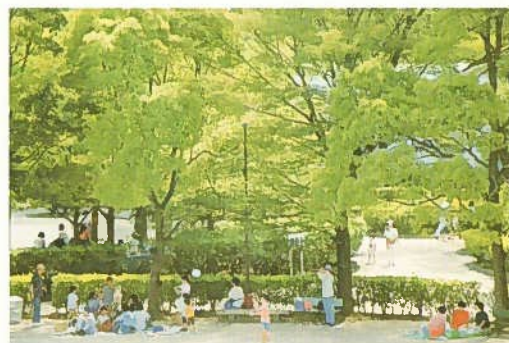


「都心美化」 長岡隆男



「街の中のオアシス」 林 茂

—佳 作—



「新緑を求めて」 神内宏輝



「古都の堀川」 林 新一



「緑に跳る」 谷口一男



「植物園の昼下り」 長堀洋次郎



「緑陰に遊ぶ子供達」 森津二郎



「竹林公園の緑庭」 寺島 寿

—佳 作—



「軒下のやすらぎ」 南部良平



「緑の中でバイスクル・トライアル」 西 義雄



「深緑の憩い」 谷田道雄



「夏の昼下り」 小蔵武三



「ビルの中のオアシス」 渡部恵美子



「みどりの頃」 伊藤とのひろ

—佳 作—



「窓のみどり」
長岡陸美



「(無題)」 河原靖尚



「母子水入らず」 山田拓広



「緑蔭のバス停」 山田昌次



「昼下がりのひととき」 山田千恵子



「緑の館」 北川順子

—佳 作—



「新緑とつつじの道」 金田悦二



「緑と噴水福知山城公園」 安藤 業



「緑の中で」 中島 清



「祭の日」 千原正己



「緑の散策路を歩く若者」 一井由清



「しだれ桜の並木道」 堀島信之

—佳 作—



「緑の息吹き」 石井 実



「花のある町」 小 卷 勝



「街、緑生き生き」 谷 口 祥 一



「蟬取り」 滝 本 力



「昆虫のオアシス」 藤 本 正 則



「走る」 佐々木一幸

わたしたちの手で緑をそだて、守ろう

—第9回京都都市緑化写真コンクール講評にかえて—

古都保存文化写真協会会長

写真作家 小 林 文 司

街のみどりを、守り育てていこうと始まったこの写真コンクールも9回目を迎え、多くの方の共感を得、定着してきたようです。自然の緑、まちの緑の樹木は、それぞれに歴史や文化を持ち、私たちに多くのやすらぎや憩いを与えてくれます。

写真コンクールの審査に携わって以来、街路樹や公園の木をはじめ家並のみどりが随分と気になりました。同じ種類の木であっても、それぞれに表情があり一本一本異なります。

元気な生き生きした木をみると近くに住んでいる方の日頃のお世話が偲ばれます。

写真を撮っていてもジャマになるもの、見苦しいもの…街角、公園、街路樹の植え込みのゴミ。府、市に聞いてみると、家庭ゴミの公園への持ち込み、道端の放置ゴミ、ポイ捨てには相当困っているようです。これは役所に苦情を言うものでなく私たちの暮らしの中でのマナーやモラル、それ以前のものと考えますが如何なものでしょうか。

第9回の応募は387点といままでにない数ですが、内容は今一つと言わねばなりません。日常のみどりに慣れたせいか、写真としてはハイレベルではありますがマンネリ・定型化しているようです。それに過去の入選作品の類似作品がまことに多く見られました。

知事賞は、新しく造られた施設に住民がよく溶け込み、緑の下でごく自然に楽しいムードが描写されていました。

市長賞は、京都の新しい緑化施設のPR用ポスターなどにも利用できるよう、文字等のレイアウトを想定して選んでみました。

京都府造園建設業協会賞は、いい作品ですが、新しい時代を迎えつつある京都にも京都らしい落ち着きのある雅な感じがほしいと思います。

今年京都で開催される「第11回全国都市緑化きょうとフェア」にあたり設けられた“きょうとフェア実行委員会賞”は、場所は市内の中心部ですが、背景の建物もクラシックで、何と云っても画面の中に緑の配置と人物の配置も見事でした。

総評としては、今年は思いきって上位4点に新しい京都ムードのものを選んでみましたが、結果は従来の作品の類似が多く、変わり栄えがしないのは残念です。保存と開発の波の中で京都は難しい題材かも知れません。

「第11回全国都市緑化きょうとフェア」は今年9月23日から11月20日まで開かれますが、この写真コンクールもあらたな趣向が計画されているようです。

これを機会にますますの発奮を期待しております。



第11回全国都市緑化きょうとフェア

緑いきいき

KYOTO'94

○会 期／平成6年9月23日(祝)～11月20日(日)

○主 会 場／梅小路公園・学研記念公園
(京都市下京区) (相楽郡精華町)



めばえちゃん

開催テーマ

「緑の文化」その伝統と創生

第9回京都市都市緑化写真コンクール

■主催／京都府都市計画協会

■共催／京都府、京都市、(社)京都府造園建設業協会、
第11回全国都市緑化きょうとフェア実行委員会

■後援／建設省、京都府公園公社、京都府市長会、京都府町村会、
京都新聞社、KBS京都、NHK京都放送局

■協賛／京都府造園組合連合会、日本造園修景協会京都府支部、
京都府写真材料商業組合、富士写真フィルム

(順不同)